

図書館だより 7月号



いよいよ夏休み。ある保険会社の調査では、今年の夏休みを表す漢字の上位には、『耐』『静』『忍』の3文字が選ばれたようです。いつもと違う夏休みとなりそうですが、読書でもしてみませんか？

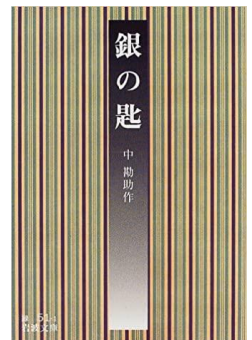
清家 亮太 先生（国語）

趣味・特技の欄があれば、必ず「読書」と書く。しかし、私の読書は、いわゆる「濫読」というやつだ。同時に何冊も並行して読むし、読み終えれば興味は次の本に移り、棚に入れたまま、再び手にすることもあまりない。命を削るようにして一言一句を生み出す作者から見れば、私は決して良い「読者」ではないのだろう。

そんな私にも、人生で何度も読み返してきた小説がある。大正時代の初めに刊行された中勘助の自伝的小説『銀の匙』だ。回想という形で、一人の男の子が青年に成長していく姿を一冊にまとめている。細やかに記録された明治期・東京での暮らしぶりや、遊びをはじめとする子どもの世界のいきいきとした描写により、作品世界に引き込まれる。特に、主人公の絶対的理解者である

「伯母さん」との交流と再会の場面は、何度読んでも心が洗われる。

現在も、枕元に新潮文庫版の『銀の匙』置き、眠りにつくまでの時間や、目覚めが早すぎた朝、手に取って開いた所を読んでいる。主人公の持つ感性が生じさせる、周囲の人との距離に共感しながら、いくつになっても、人との距離を上手にコントロールできないでいる私自身に気づく。そのことを反省しつつ、今日もページをめくる。



生徒のみなさんへお願い

みなさんが図書館で本を借りる際には、貸出一覧表にクラスと氏名だけでなく、「書籍名」と「登録番号」を記入してください。貸し出し状況が把握できなくなり、新しく図書を購入するために活用することができなくなります。

ご協力をお願いします。

課題図書を紹介

今年も図書館に本が入りました。ぜひ読んでみてください。

書名	著者名
廉太郎ノート	谷津矢車
フラミンゴボーイ	マイケル・モーバーゴ 作 杉田七重 訳
キャパとグルダ：ふたりの戦場カメラマン	マーク・アソッ 著 マリア・ブドーズ 著 原田勝 訳

課題図書（3つの中から）を書いて、

読書感想文コンクールに応募してみませんか？



詳細は「青少年読書感想文全国コンクール」 <https://dokusyokansoubun.jp/index.html>

7・8月の図書の貸し出しについて

- ☆ 期日 7月27日（月）・28日（火）、8月20日（木）～
- ☆ 夏休み中に本を借りたい人は、中井先生に直接申し込んでください。

1学期のクラス別図書貸し出し冊数（5/26～7/17）

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
32冊	75冊	51冊	0冊	3冊	12冊	7冊	27冊	43冊

1学期の個人貸し出し冊数

1位	1-2	東海林 茉莉さん	39冊
2位	3-2	宮田 未来さん	23冊
3位	3-3	森田 里奈子さん	19冊



たくさん読みました。すばらしい_(^◇^*)_)

図書館だよりは、川之石高校のHPでも読めます。

